

環境に関する市民アンケート調査 報告書

令和5年3月

山口市

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、本市の環境政策の指針となる「山口市環境基本計画」に掲げる施策の総合的かつ計画的な推進にあたり、皆様が日頃感じておられる環境に対する思いや、市の環境行政に対する意見・要望を把握することで、今後の環境行政の運営に反映させることを目的に実施した。

2 調査の対象

調査の対象者は、令和4年8月1日現在の住民基本台帳をもとに、18歳以上の市民から無作為に抽出した約2,000人を対象に実施した。

3 調査方法

調査票は郵送配布とした。回答方法は、文書で回答し調査票を返送する方法と、ウェブで回答する方法の2通りから選ぶことができるようにした。なお、回答は宛名本人が記入することを原則としたが、本人が記入できない場合は、代筆可能とした。

4 調査期間

令和4年10月6日に発送し、令和4年11月14日到着分までを集計し、分析した。

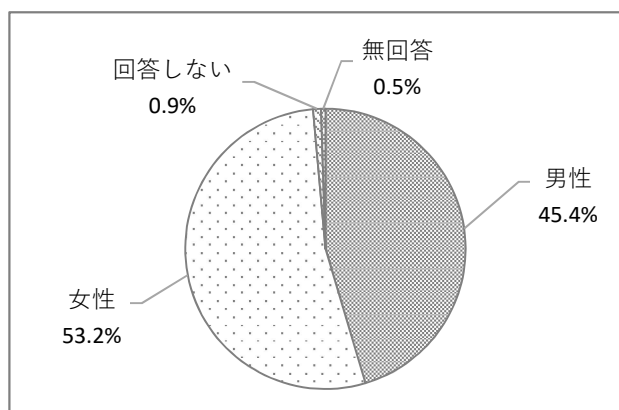
5 回収結果

発送数	2,000人
転出等による返却	5人
対象者数	1,995人
回収数	812人（文書で回答628人、ウェブで回答184人）
有効回収率	40.7%

II 回答者の構成

1 性別

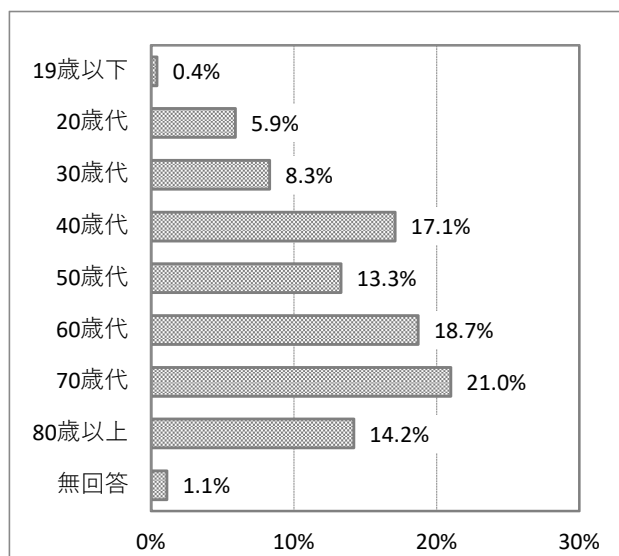
No.	カテゴリ	件数	%
1	男性	369	45.4%
2	女性	432	53.2%
3	回答しない	7	0.9%
4	無回答	4	0.5%
	計	812	100.0%



(N=812)

2 年齢別

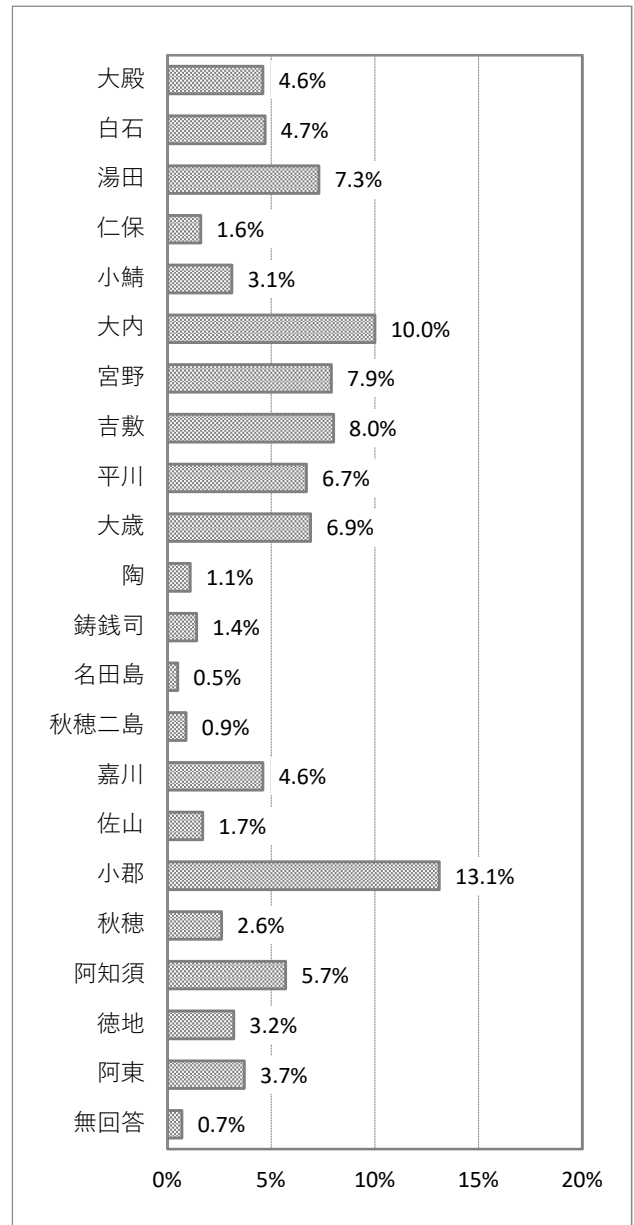
No.	カテゴリ	件数	%
1	19歳以下	3	0.4%
2	20歳代	48	5.9%
3	30歳代	67	8.3%
4	40歳代	139	17.1%
5	50歳代	108	13.3%
6	60歳代	152	18.7%
7	70歳代	171	21.0%
8	80歳以上	115	14.2%
9	無回答	9	1.1%
	計	812	100.0%



(N=812)

3 地域別

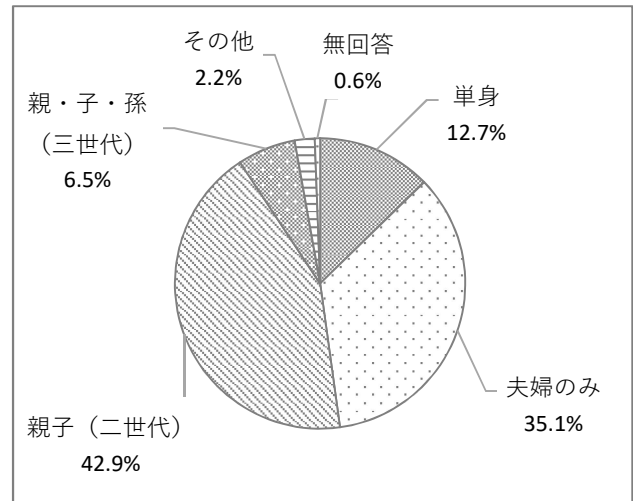
No.	カテゴリ	件数	%
1	大殿	37	4.6%
2	白石	38	4.7%
3	湯田	59	7.3%
4	仁保	13	1.6%
5	小鯖	25	3.1%
6	大内	82	10.0%
7	宮野	64	7.9%
8	吉敷	66	8.0%
9	平川	54	6.7%
10	大歳	56	6.9%
11	陶	9	1.1%
12	鑄銭司	11	1.4%
13	名田島	4	0.5%
14	秋穂二島	7	0.9%
15	嘉川	37	4.6%
16	佐山	14	1.7%
17	小郡	107	13.1%
18	秋穂	21	2.6%
19	阿知須	46	5.7%
20	徳地	26	3.2%
21	阿東	30	3.7%
22	無回答	6	0.7%
	計	812	100.0%



(N=812)

4 家族構成

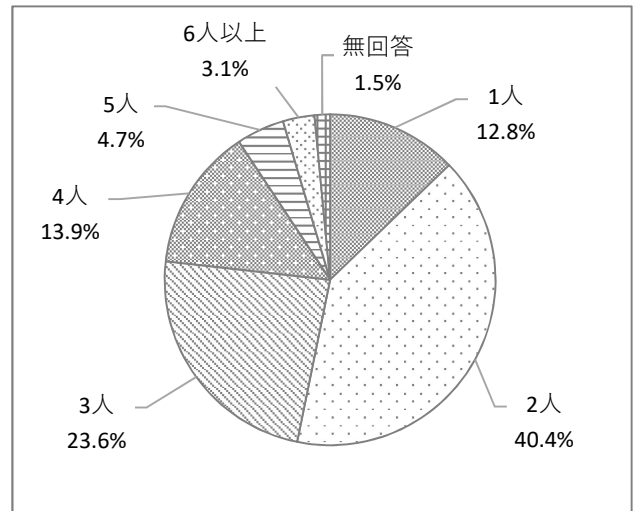
No.	カテゴリ	件数	%
1	単身	103	12.7%
2	夫婦のみ	285	35.1%
3	親子（二世代）	348	42.9%
4	親・子・孫（三世代）	53	6.5%
5	その他	18	2.2%
6	無回答	5	0.6%
	計	812	100.0%



(N=812)

5 同居者の人数

No.	カテゴリ	件数	%
1	1人	104	12.8%
2	2人	328	40.4%
3	3人	192	23.6%
4	4人	113	13.9%
5	5人	38	4.7%
6	6人以上	25	3.1%
7	無回答	12	1.5%
	計	812	100.0%



(N=812)

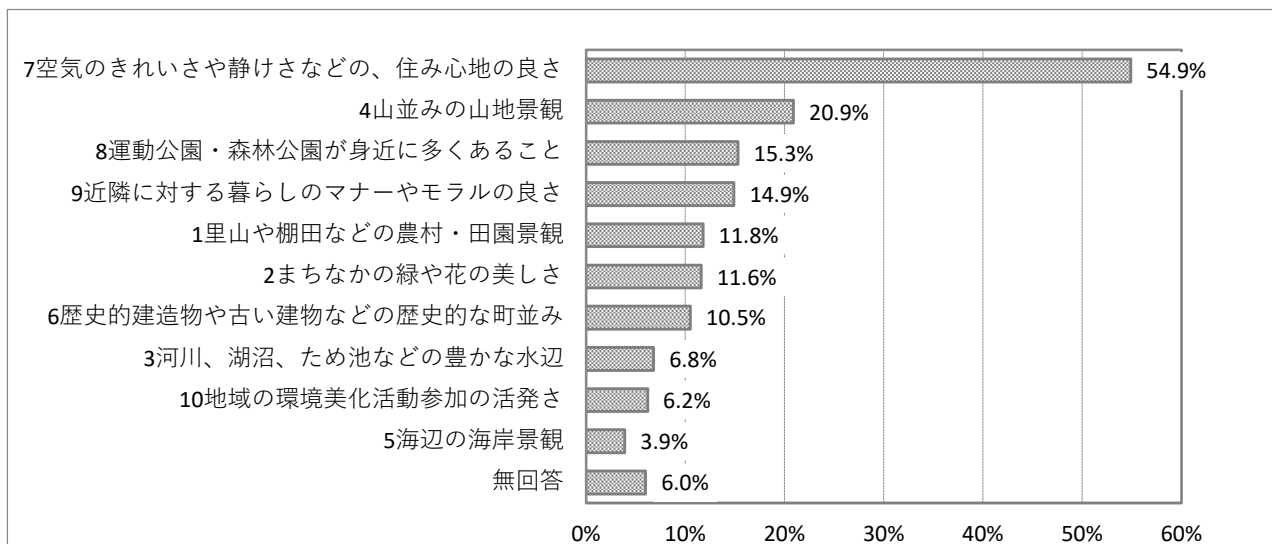
Ⅲ 調査結果

1 環境全般について

問1 あなたがお住まいの地域で素晴らしいと思うことや誇りに思うことは何ですか。

[○は2つまで]

(N=812)

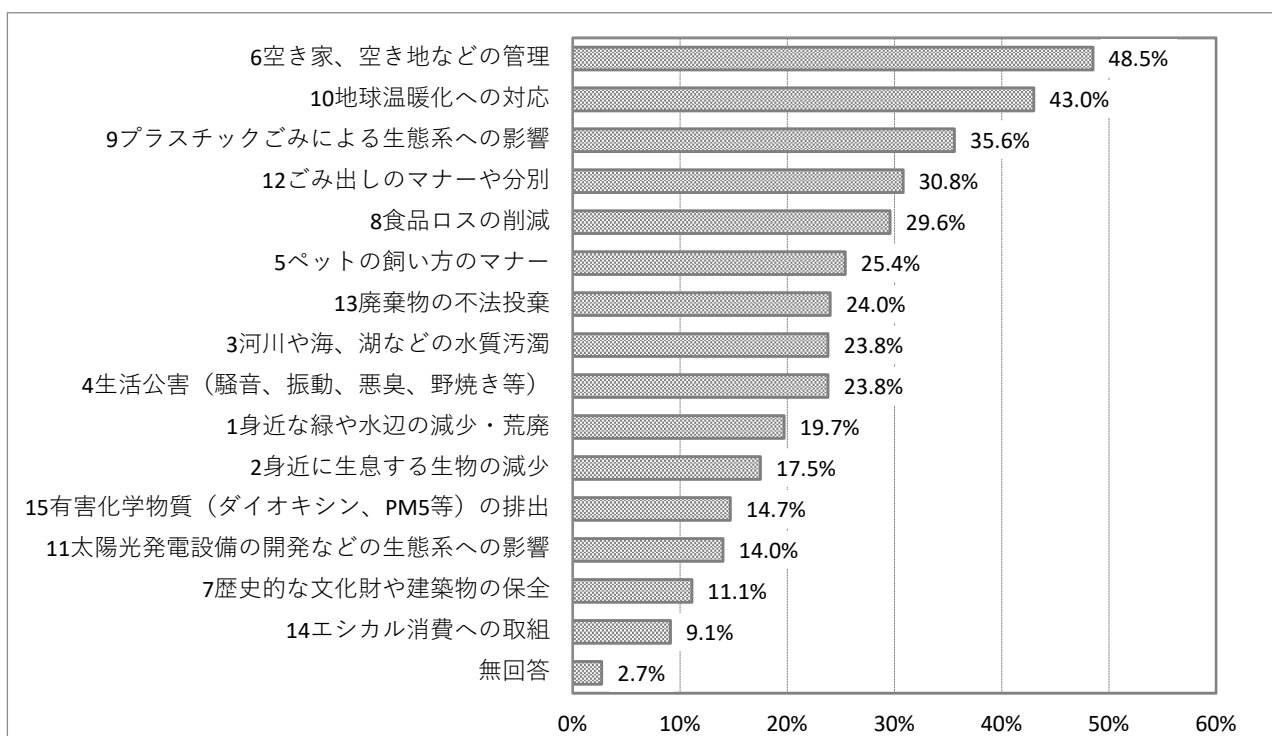


半数以上の人々が「空気のきれいさや静けさなどの、住み心地の良さ」(54.9%)が素晴らしいと回答しており、他の項目に比べて突出している。

問2 あなたが、次の環境問題について、関心があるものは何ですか。

[該当項目すべてに○]

(N=812)

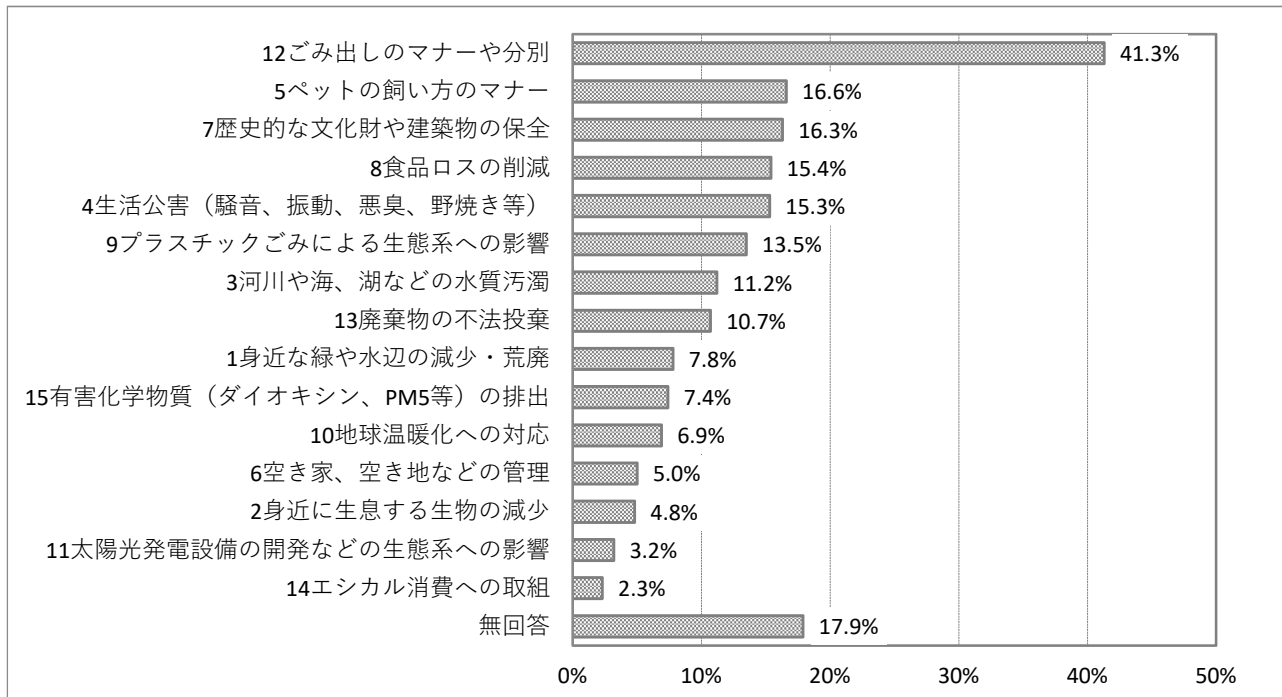


「空き家、空き地などの管理」が48.5%、次いで「地球温暖化への対応」が43.0%と関心が高い。

問3 あなたが、次の環境問題について、改善されていると思う項目に○をつけてください。

[該当項目すべてに○]

(N=812)



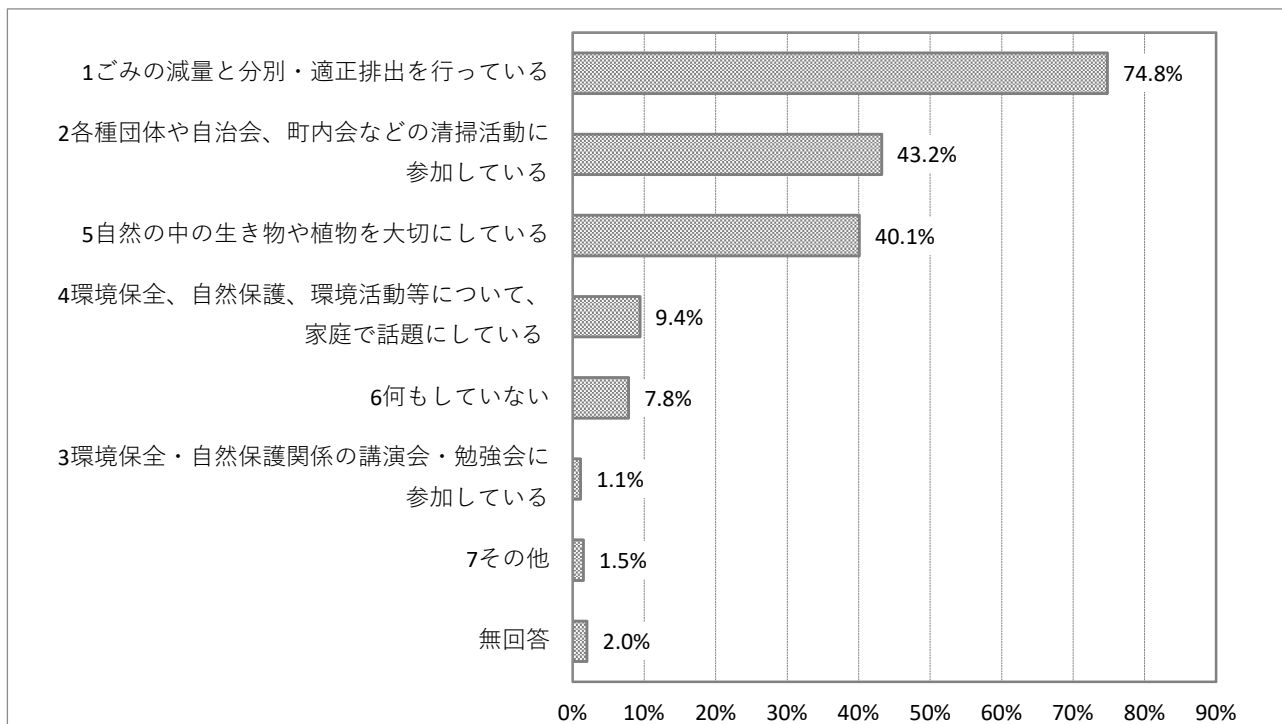
「ゴミ出しのマナーや分別」と回答した人が41.3%と最も多く、他の項目に比べて突出している。

2 自然環境や生活環境について

問4 あなたは、何か環境に優しい行動をしていますか。

[該当項目すべてに○]

(N=812)



「ゴミの減量と分別・適正排出を行っている」が74.8%と最も多く、「各種団体や自治会、町内会などの清掃活動に参加している」が43.2%、「自然の中の生き物や植物を大切にしている」が40.1%と多い。

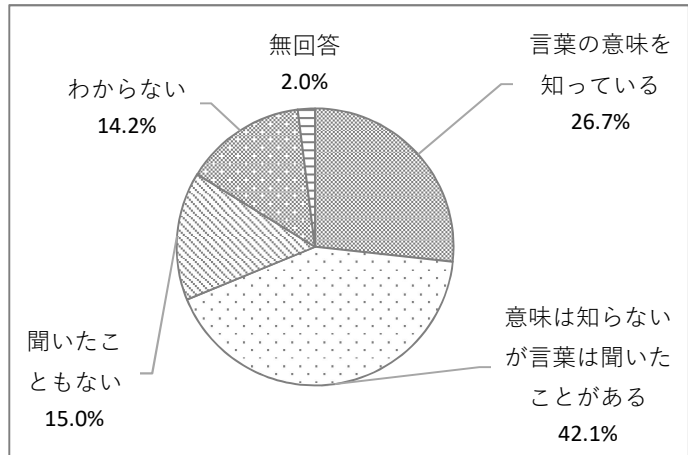
(N=812)

問5

あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか。

[どれか1つに○]

「言葉の意味を知っている」と回答した人は26.7%だった。「意味は知らないが言葉は聞いたことがある」42.1%、「聞いたこともない」15.0%、「わからない」14.2%と、意味を知らない人が全体の約7割を占めている。



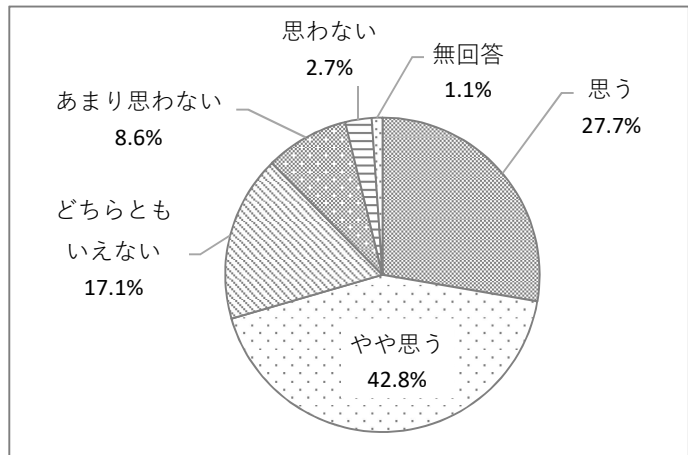
(N=812)

問6

あなたのお住まいの周辺は、空気や河川等の水辺がきれいだと思いますか。

[どれか1つに○]

「思う」が27.7%、「やや思う」が42.8%で、約7割の人が空気や河川等の水辺がきれいだと思っている。「思わない」2.7%、「あまり思わない」8.6%と、約1割の人がきれいだと思っていないこともわかる。

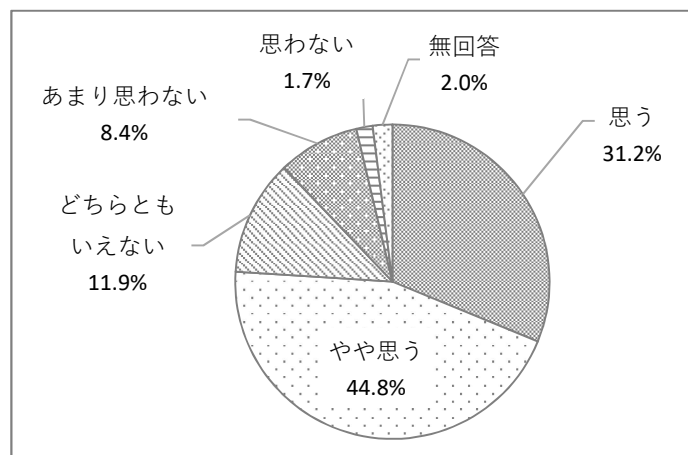


(N=812)

問7

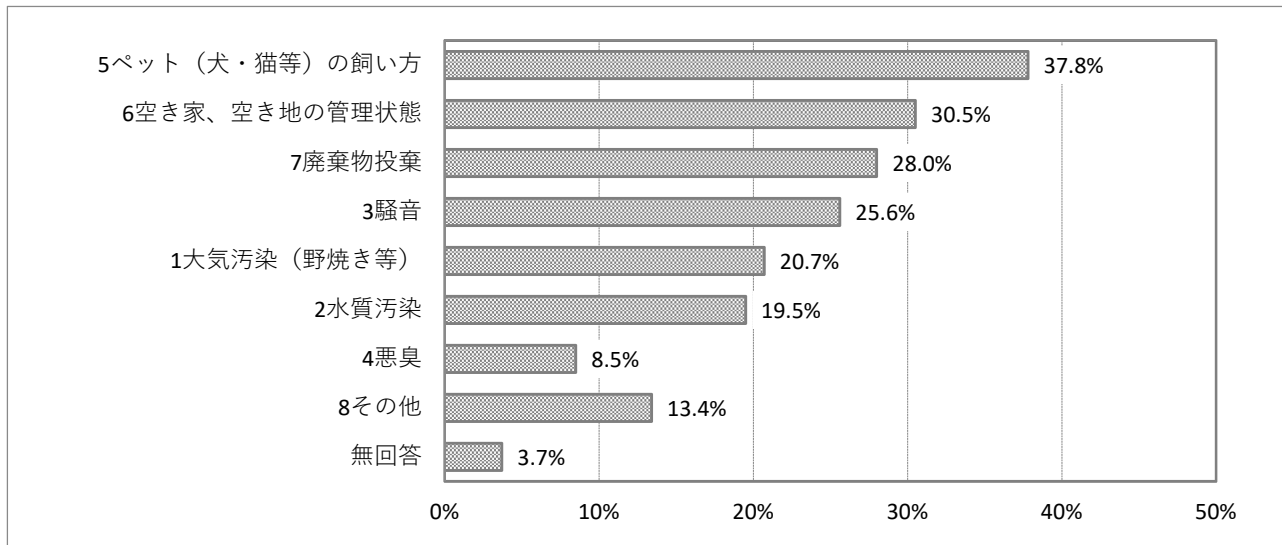
あなたのお住まいの周辺は、清潔で衛生的な生活ができる環境になっていると思いますか。[どれか1つに○]

「思う」が31.2%、「やや思う」が44.8%で、約7割の人が清潔で衛生的な生活ができる環境だと答えている。「思わない」1.7%、「あまり思わない」8.4%と、約1割の人が清潔で衛生的な生活ができる環境だと思っていないこともわかる。



問8 問7で「あまり思わない」「思わない」とお答えの方にお聞きします。どうしてそのように思われますか。[該当項目すべてに○]

(N=82)

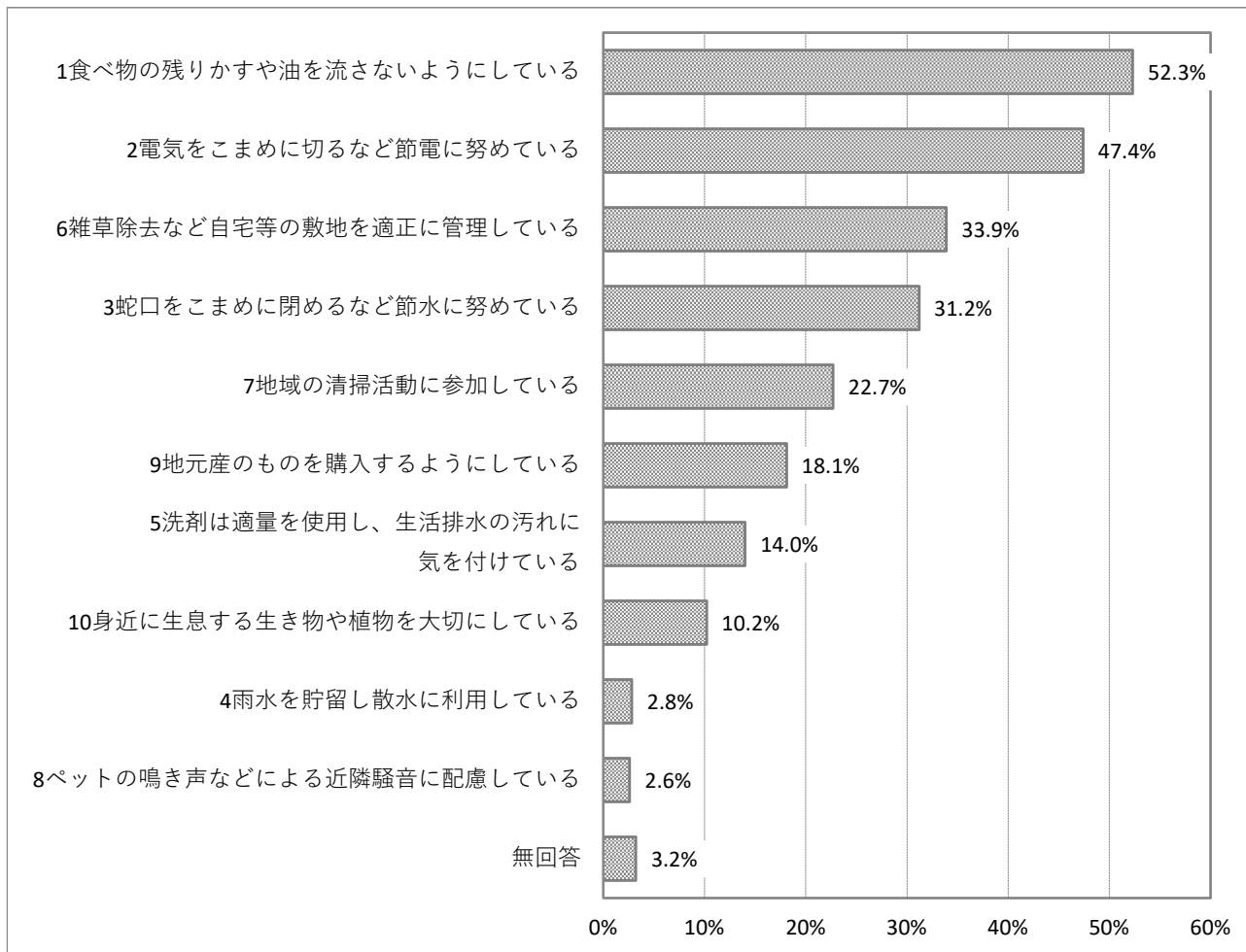


「ペット（犬・猫等）の飼い方」が37.8%と最も多く、次いで「空き家、空き地の管理状態」が30.5%、「廃棄物投棄」が28.0%と多い。その他の意見では、「下水が整備されていない」が多かった。

問9 以下の生活環境に関する各取組について、あなたの取組状況をお答えください。

[○は2つまで]

(N=812)



「食べ物の残りがすや油を流さないようにしている」が 52.3%と最も多く、「電気をこまめに切るなど節電に努めている」が 47.4%と次に多い。「雨水を貯留し散水に利用している」は 2.8%、「ペットの鳴き声などによる近隣騒音に配慮している」は 2.6%と、取り組んでいる人の割合が少ない。

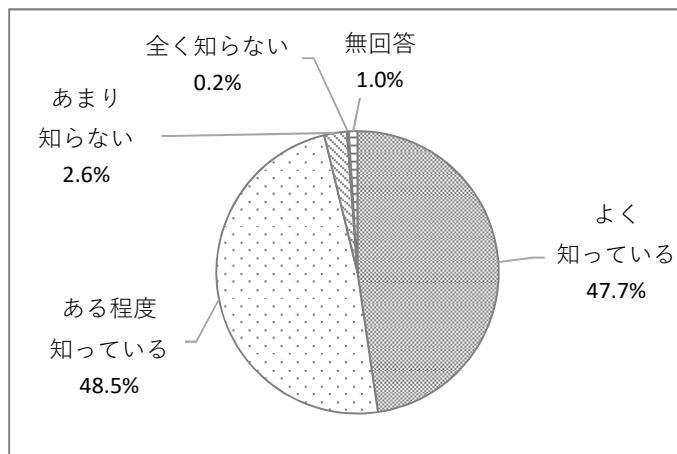
3 資源の有効活用と環境負荷について

(N=812)

問 10

あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。 [どれか1つに○]

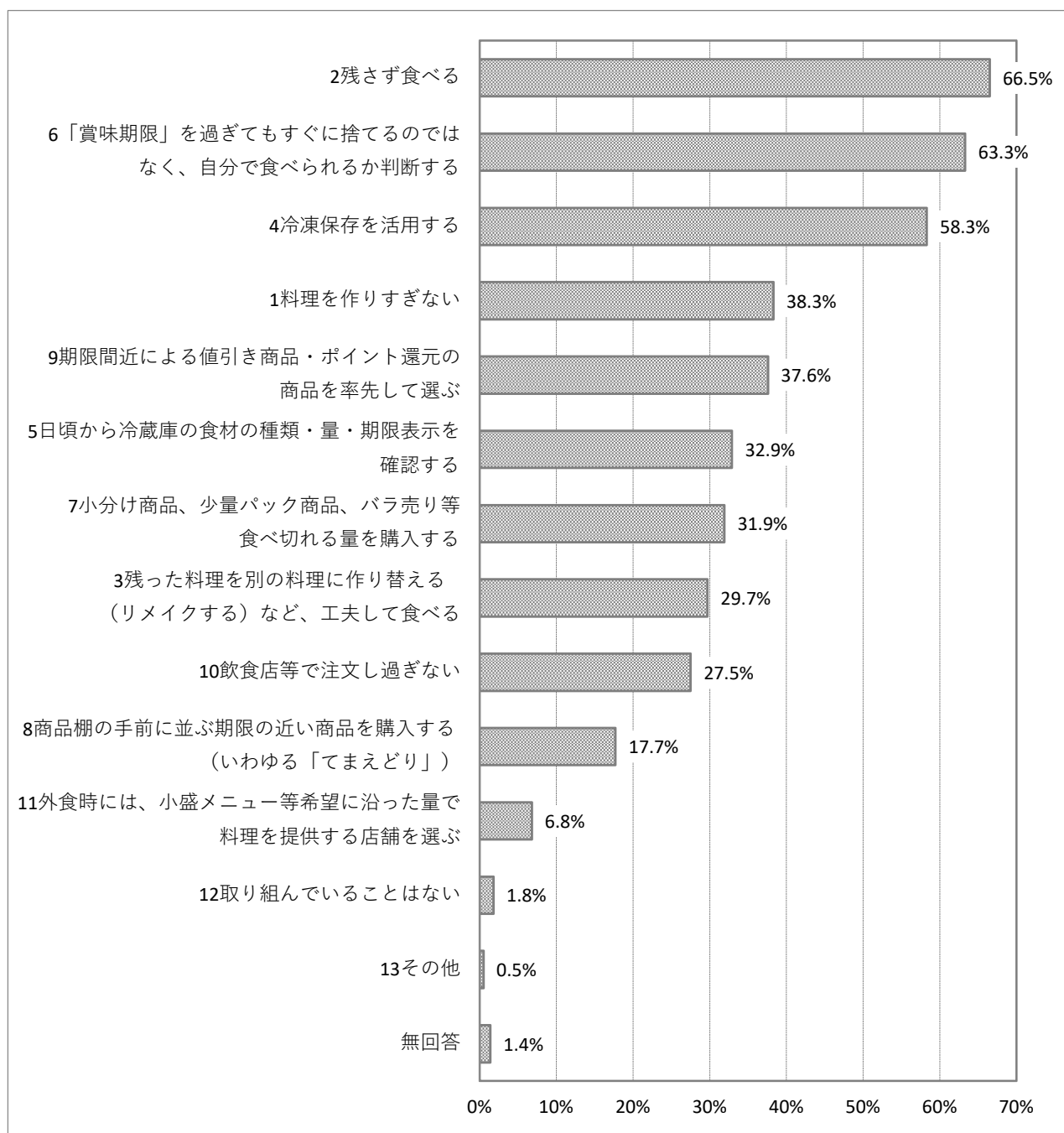
「よく知っている」が 47.7%、「ある程度知っている」が 48.5%で、約 9 割以上の人に食品ロスの問題が認知されていることがわかる。



問11 あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。

[該当項目すべてに○]

(N=812)



「残さず食べる」が66.5%、「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」が63.3%、「冷凍保存を活用する」が58.3%と半数以上の人が取り組んでいることがわかる。

「取り組んでいることはない」と回答した人は全体の1.8%とわずかで、ほとんどの人が食品ロスを減らすための取り組みを行っている。

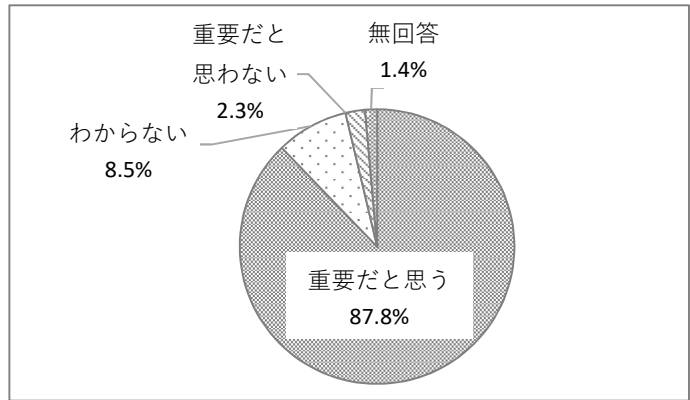
(N=812)

問 1 2

あなたは、使い捨てプラスチックによる環境への影響は、重要な問題だと思いますか。

[どれか1つに○]

「重要だと思う」と回答した人が87.8%で、9割近くの人がプラスチックによる環境への影響を懸念しているといえる。

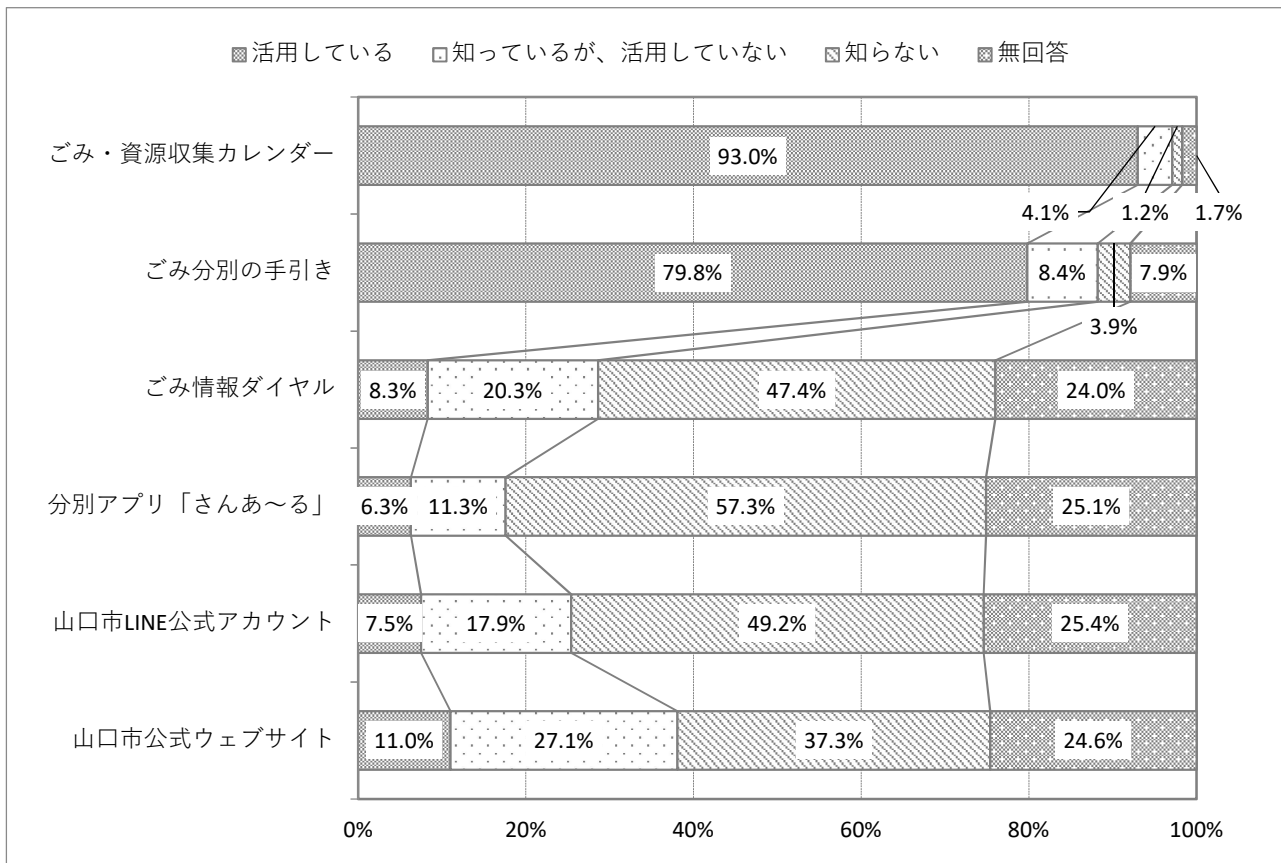


4 ごみの分別・リサイクルについて

問 1 3 あなたがごみを分けたり、出したりする際に、次の媒体の情報を活用していますか。

[該当項目すべてに○]

(N=812)



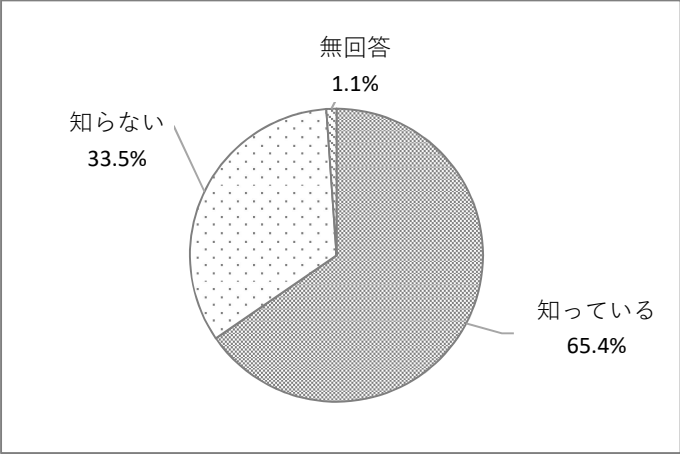
活用されている媒体は、「ごみ・資源収集カレンダー」93.0%、「ごみ分別の手引き」79.8%だといえる。知らないと回答した人が多いのは、「分別アプリ「さんあ〜る」」57.3%、「山口市 LINE 公式アカウント」49.3%、「ごみ情報ダイヤル」47.4%と、いずれも半数の人に媒体が知られていないことがわかる。

(N=812)

問 1 4

充電式電池、モバイルバッテリー、ボタン電池、電子たばこは、「燃やせないごみ」として排出することができません。金属端子部分をテープで覆い、市の施設の屋内に設置している回収容器に排出することになっていますが、この排出方法を知っていますか。
[どちらかに○]

「知っている」と回答した人が 65.4% で、約 6 割の人に排出方法が認知されている。

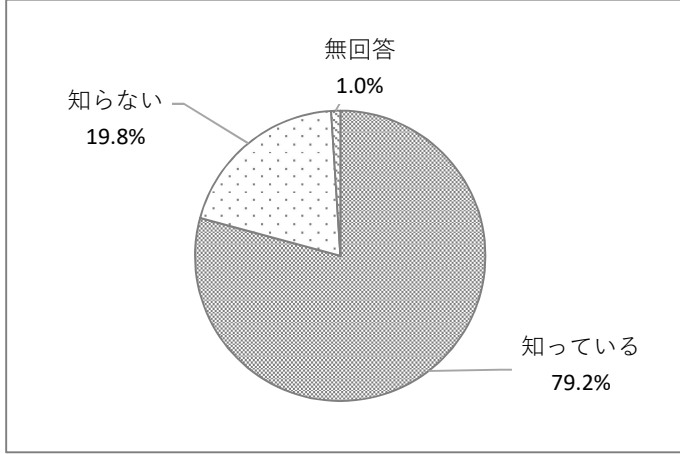


(N=812)

問 1 5

充電式電池、モバイルバッテリー、ボタン電池、電子たばこは、「燃やせないごみ」に混入すると、ごみ収集車や処理施設で出火する危険性があることを知っていますか。
[どちらかに○]

「知っている」と回答した人が 79.2% で、約 8 割の人に危険性が認知されている。



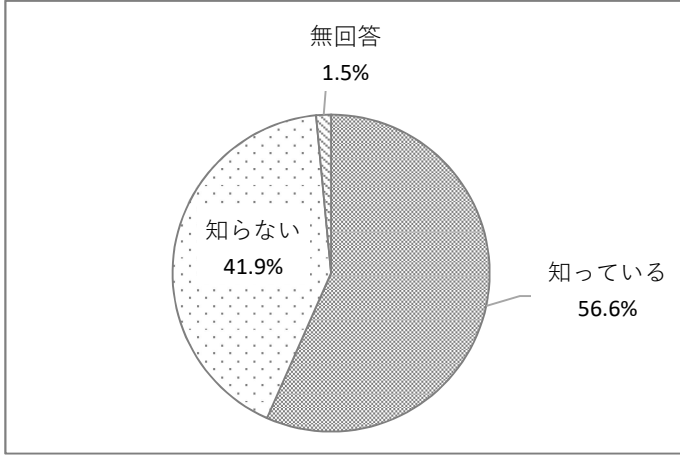
5 地球温暖化対策について

(N=812)

問 1 6

あなたは、改正地球温暖化対策推進法により、我が国が温室効果ガス排出量を 2050 年までに実質ゼロ、いわゆるカーボンニュートラルを目指すとともに、政府が 2030 年度に 2013 年度比で 46%削減するという、新たな目標を掲げていることを知っていますか。
[どちらかに○]

「知っている」と回答した人が 56.6% で、半数以上の人々が国の目標を知っている。



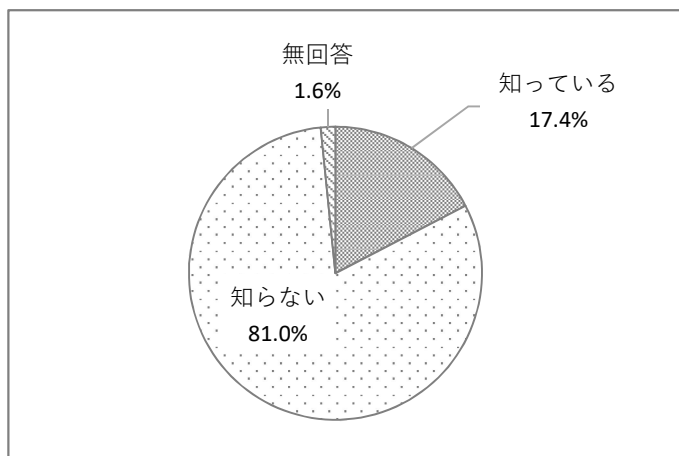
(N=812)

問 17

あなたは、山口市が2021年（令和3年）12月に「山口市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、地球温暖化という課題に向き合い、地域脱炭素の取組に積極的に取り組む決意表明をしたことを知っていますか。

[どちらかに○]

「知っている」17.4%に対して、「知らない」と回答した人が81.0%で、あまり認知されていないことがわかる。



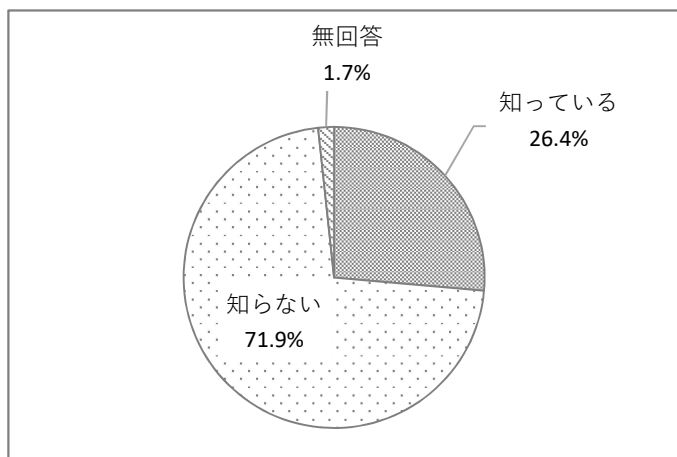
(N=812)

問 18

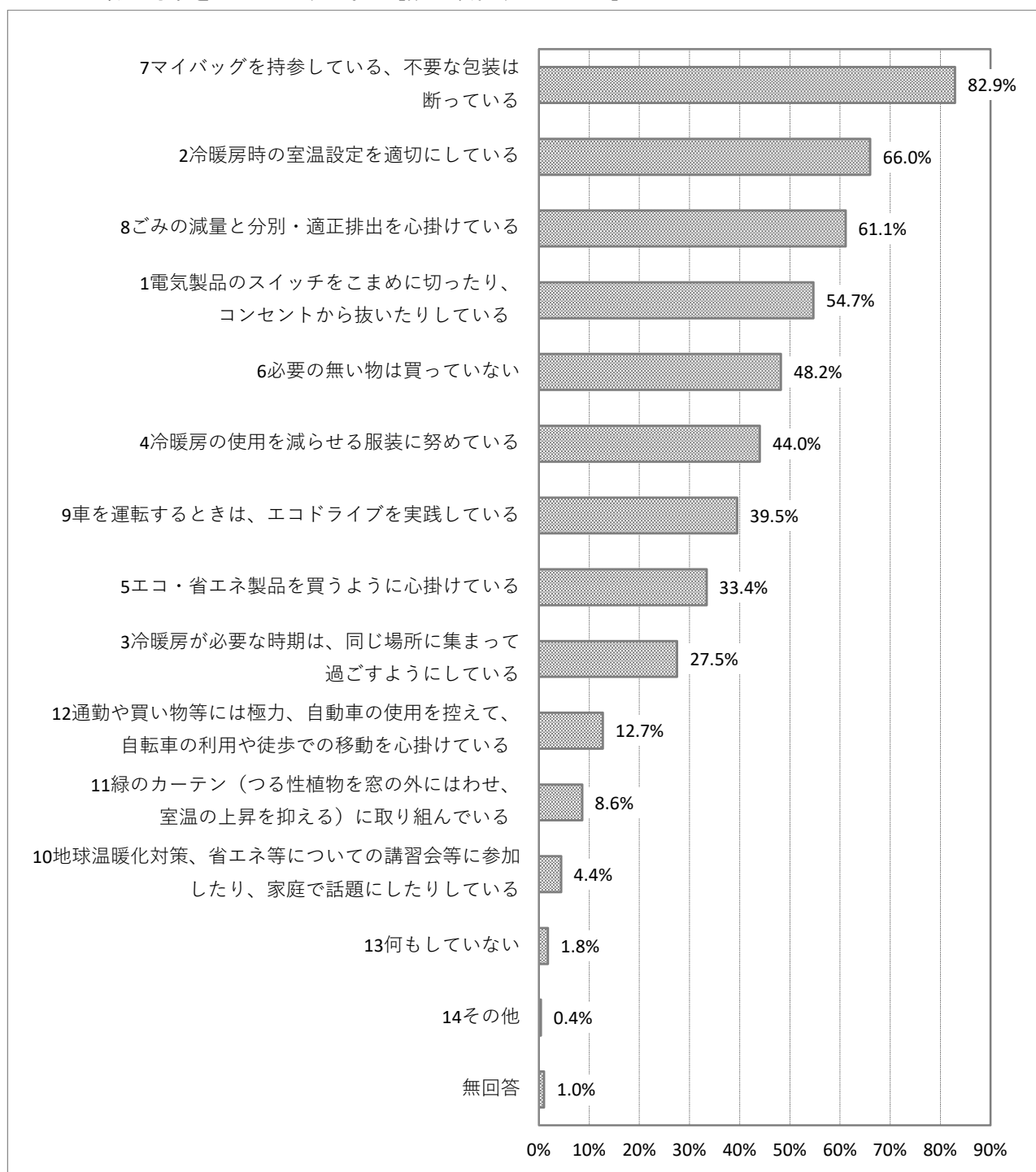
あなたは、地球温暖化対策の推進を図る国民運動「COOL CHOICE（賢い選択）」を知っていますか。

[どちらかに○]

「知っている」26.4%に対して、「知らない」と回答した人が71.9%で、あまり認知されていないことがわかる。



問19 今、世界中で地球温暖化対策のために様々な取組が進められています。あなたは、何か地球温暖化対策をしていますか。 [該当項目すべてに○] (N=812)



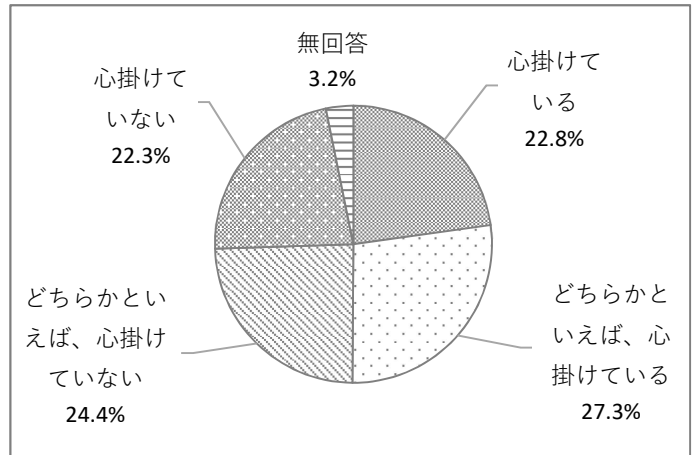
「マイバッグを持参している、不要な包装は断っている」と回答した人が82.9%で、多くの人に取り組みを実践している。「冷暖房時の室温設定を適切にしている」は66.0%、「電気製品のスイッチをこまめに切ったり、コンセントから抜いたりしている」が54.7%と、節電を意識した取り組みを実践している人が多い。

(N=812)

問 2 0

山口市は、世帯当たりのガソリン購入量が多いという統計結果が公表されています。そのため、市では公共交通機関や自転車などを利用する「スマートムーブ」の取組に力を入れています。あなたは、近距離移動には自転車の利用や徒歩での移動を心掛けていますか。

[どれか1つに○]



「心掛けている」が22.8%、「どちらかといえば、心掛けている」が27.3%で、半数の人が自転車や徒歩での移動を心掛けている。一方、「心掛けていない」が22.3%、「どちらかといえば、心掛けていない」が24.4%と、心掛けていない人も半数と、意見が分かれている。

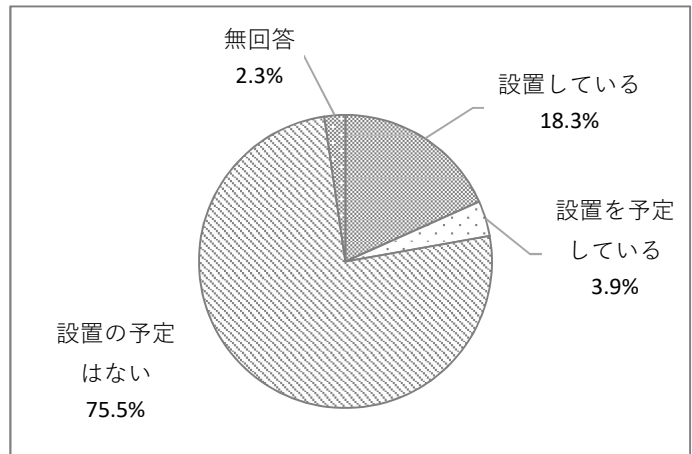
(N=812)

問 2 1

あなたの家庭で、再生可能エネルギーの設備を設置または設置を予定していますか。

[どれか1つに○]

「設置している」と回答した人は18.3%にとどまる。「設置の予定はない」と回答した人が75.5%で、再生可能エネルギーの設備を設置する人が少ないことがわかる。



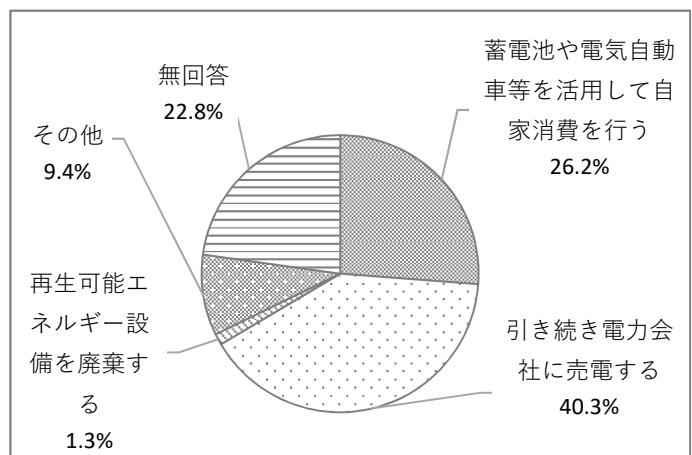
(N=149)

問 2 2

問 2 1で「設置している」とお答えの方のうち、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT制度)」に基づいた電気の売電を行う方にお聞きします。売電期間満了後の予定をお答えください。

[どれか1つに○]

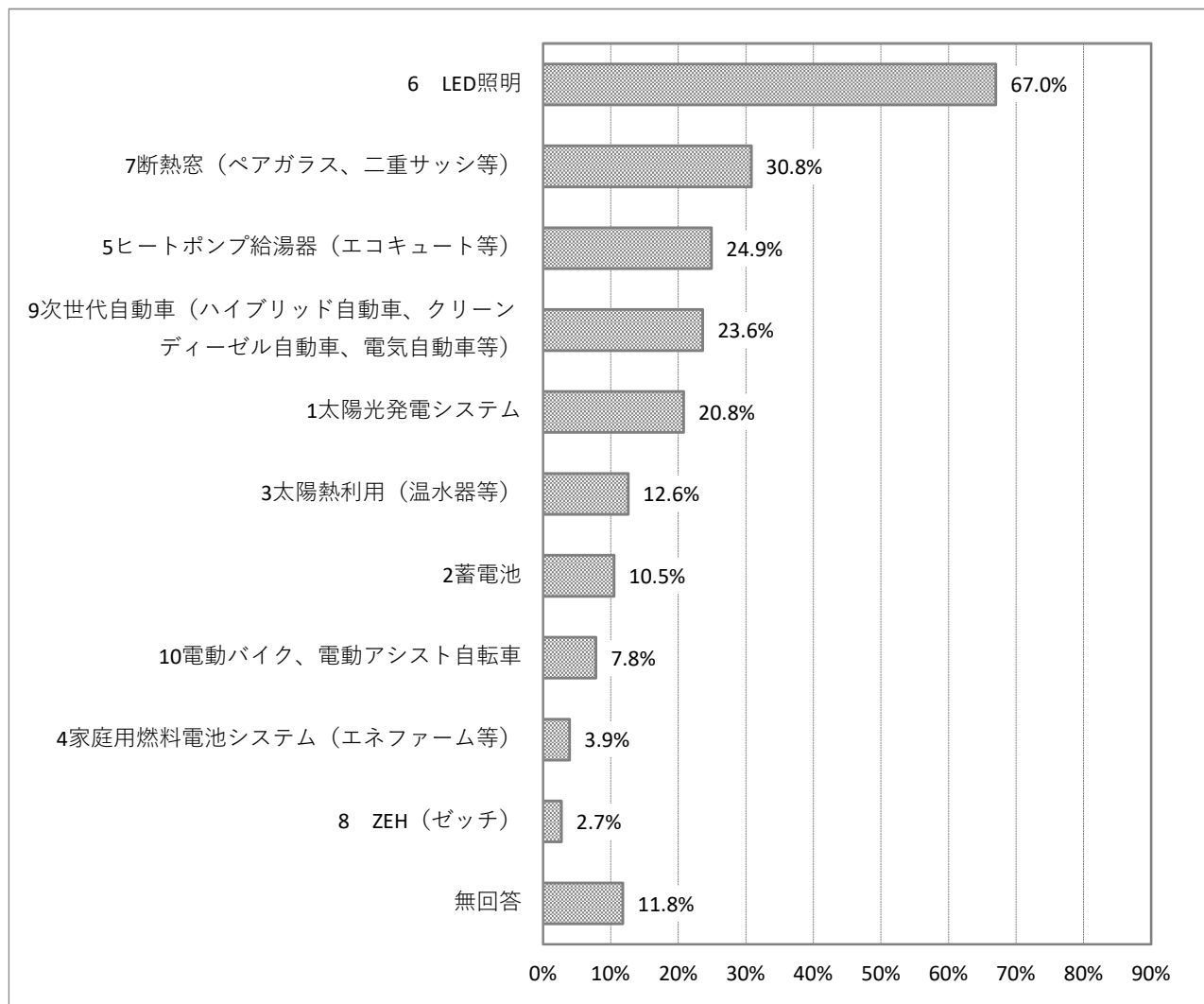
「引き続き電力会社に売電する」が最も多く40.3%だった。次に「蓄電池や電気自動車等を活用して自家消費を行う」が26.2%である。



問23 あなたの家庭で、具体的にどのような再生可能エネルギーを用いた設備や省エネルギーにつながる設備を導入されていますか、もしくは導入したいと思いますか。

[該当項目すべてに○]

(N=812)



「LED照明」と回答した人が最も多く67.0%で突出している。「断熱窓 (ペアガラス、二重サッシ等)」が30.8%、「ヒートポンプ給湯器 (エコキュート等)」が24.9%、「次世代自動車 (ハイブリッド自動車、クリーンディーゼル自動車、電気自動車等)」が23.6%と導入が進んでいる。「家庭用燃料電池システム (エネファーム等)」は3.9%、「ZEH (ゼッチ)」は2.7%と導入が進んでいないといえる。

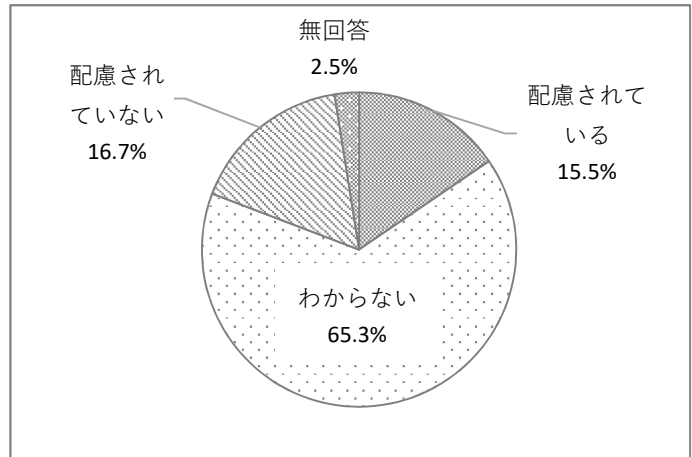
(N=812)

問2 4

市内では、徐々に太陽光発電設備（ソーラーパネル）の設置が増えてきています。その中で、あなたのお住まい周辺の太陽光発電設備等は、周囲の自然や景観、住環境に配慮されていると思いますか。

[どれか1つに○]

「配慮されている」と回答した人が15.5%に対して、「配慮されていない」と回答した人は16.7%で、配慮されていないと回答した人がわずかに多い。



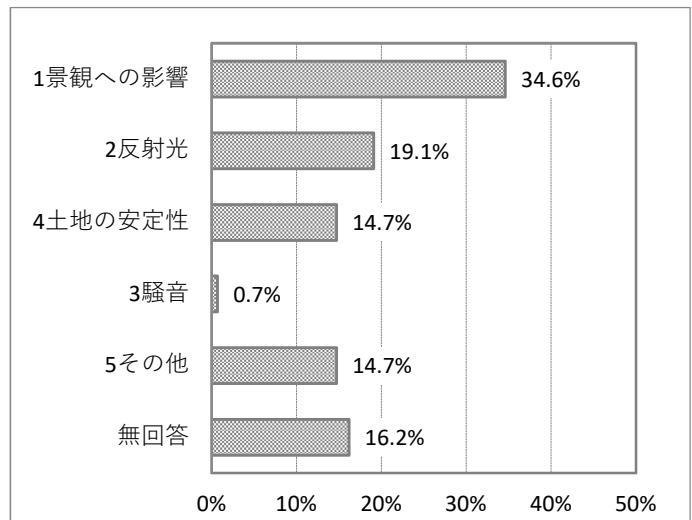
(N=136)

問2 5

問2 4で「配慮されていない」とお答えの方にお聞きます。一番の問題は何ですか。

[どれか1つに○]

「景観への影響」と回答した人が最も多く34.6%だった。その他の意見では、「ソーラーパネルなどの有毒性」「敷地内の草等の維持管理」「劣化した際の災害（台風）時の危険性」「耐用年数経過後の対応が示されていない」などの意見があった。



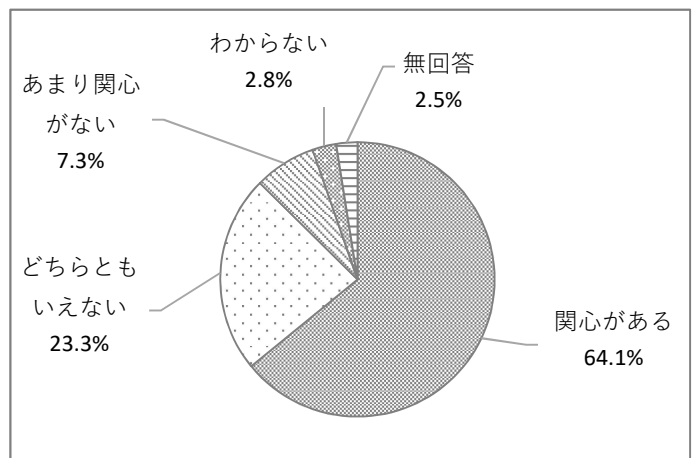
(N=812)

問2 6

我が国では、近年、記録的豪雨や猛暑、台風による自然災害が増えています。その中で、あなたは、適切に防災アプリなどで情報収集するなど、気候変動や適応策（熱中症対策や災害・異常気象に備えての安全確認等）に関心を持っていますか。

[どれか1つに○]

「関心がある」と回答した人が64.1%と半数以上を占めている。



6 環境保全の取組や社会経済のしくみづくりについて

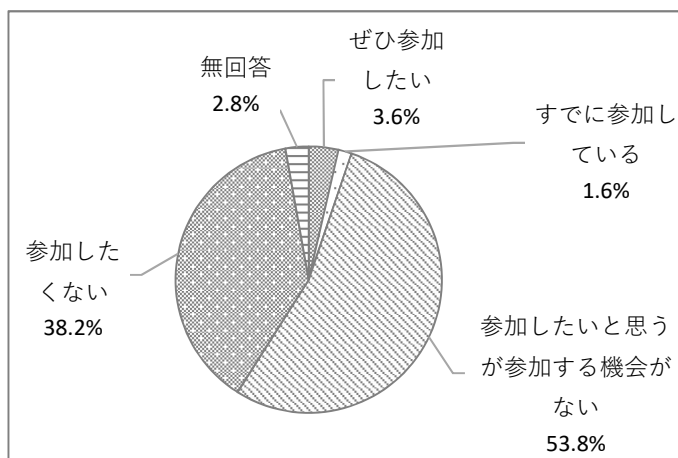
(N=812)

問27

市が行っている「環境学習」や「お気軽講座」に参加したいと思いますか。

[どれか1つに○]

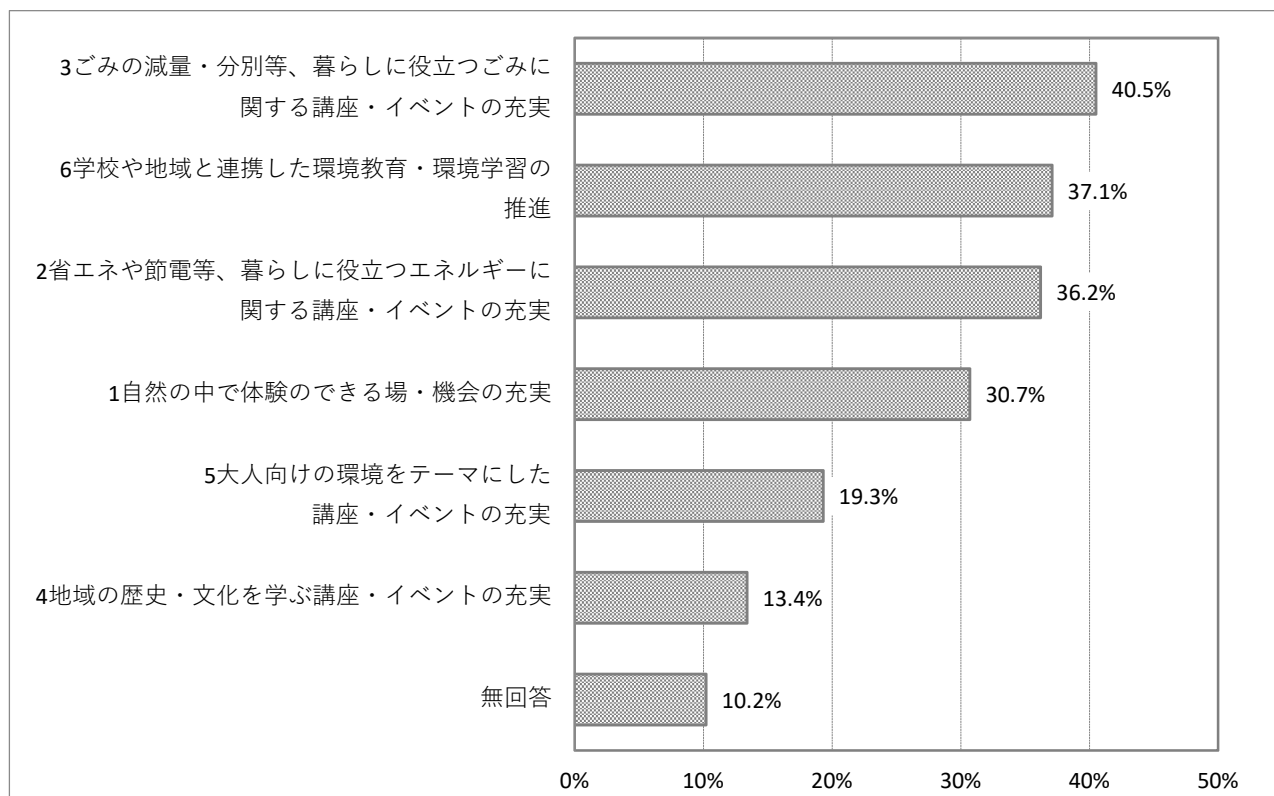
「ぜひ参加したい」(3.6%)、「すでに参加している」(1.6%)、「参加したいと思うが参加する機会がない」(53.8%)と、約6割の人が参加に対して積極的であることがわかる。



問28 環境教育・環境学習の取組を進めていくため、市に対して、どのような施策を期待しますか。

[○は3つまで]

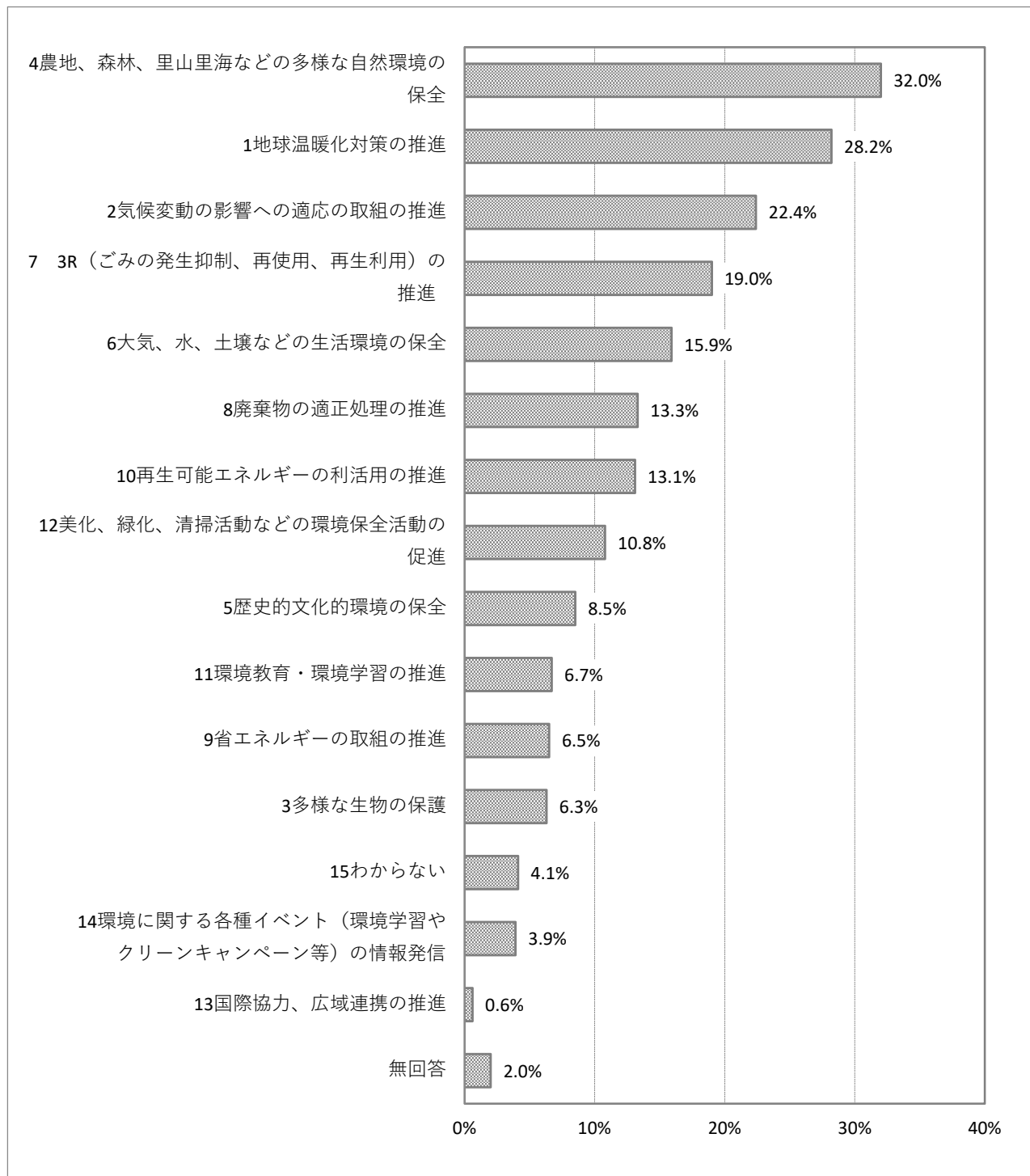
(N=812)



「ごみの減量・分別等、暮らしに役立つごみに関する講座・イベントの充実」が40.5%、「学校や地域と連携した環境教育・環境学習の推進」が37.1%、「省エネや節電等、暮らしに役立つエネルギーに関する講座・イベントの充実」が36.2%となっており、暮らしに役立つ施策への期待が高いことがわかる。

7 環境保全の推進に対する行政への要望について

問29 将来の本市の環境をより良いものとするために、市が今後特に重視すべきと考えるものはどれですか。 [〇は2つまで] (N=812)



「農地、森林、里山里海などの多様な自然環境の保全」が32.0%、「地球温暖化対策の推進」が28.2%、「気候変動の影響への適応の取組の推進」が22.4%と回答が多く、身近に取り組めるものより、地球規模の取り組みを重視する傾向があるといえる。